「満洲国各民族創作選集」選者のことば

岸田國士

青空文庫

満洲に文学が生れようとしてゐる。多くは満洲の文学を生まうとする人たちの手によつてである。

私は先年満洲のところどころを歩いて、そこで新しい国が興り、いくつかの民族のまつたく異つた伝統と生活のうちから、どこでも万人共通の歴史がすでに呼吸しはじめてゐるのを感じ、これがやがて民族の特殊性を超えたのつぴきならぬ国民的意識を形づくつて行つたならば、非常に多彩な、前例のない精神の一典型を示すに至るであらうといふ期待をもたされたのである。

いくつかの言葉で書かれたこれらの作品のそれぞれは、或はまだ日本文学であり、中国文学であり、ロシア文学であるかもわからない。しかし、文学を育くむ環境と時代の影響は、作家が意識するとしないとに拘らず、その思考と感性のうへにはつきり映らずにはゐない。私は満洲の文学が若ければ若いほど大きな希望をつなぐものである。なぜなら、ほんたうの伝統といふものは恒に年老いないものと信じるからである。

「根こぎにされた」文学の表情が、これらの作品のあるものゝうちに全然ないとは言へまい。しかしながら、将来は、個人的にみても、また満洲それ自体としてみても、かくの如き表情は一日も早く払拭せらるべきであり、作家も亦おそらくその業蹟を通じて、諸民族の協力による国土の発展に寄与することを念願とするに至るであらう。さうなつてこそ、満洲の文学史は、はじめて独自の頁を占めることになり、個々の作品は、文字通り古典的価値をもち得るのである。

問題はたゞ、観念の操作によつて、かゝる姿勢をことさら作品にとらしめることではない。現実の複雑な相貌を直視して、真に世紀の胎動とも称すべきものを感得しなければならぬ。懐疑と希望とを分つ一線がそこにある。今や、如何なる作家も正にその一線の上に立つて己れの愛するものゝために道を指し示す役割を負うてゐるのである。

それはさうと、私は、この集に収められた作品のすべてを読む暇がなく、選はおほかた川端、島木両氏にお委せしたのであるが、その結果については、両氏を信頼する私としてもちろん共同の責任を負ふつもりである。

満洲作家としてこの集に名を連ねた人々の才能は何れも美しい才能であるに違ひない。われ〳〵は、年々同じ企てが繰り返される意味を重大なものと考へてゐる。それは一つ一つの才能が伸び育つといふことの明かなしるしとなると同時に、われわれが絶大な関心を払ふ盟邦の文化の健やかな高まりがこれによつて正しく記録されるであらうからである。

創元社の意図はもとより第一に、満洲作家を日本の読者に紹介することにあるとは言へ、この企画の含む幾多の効果を考へれば、私は選者の重任を負うた一人として、こゝに更めて日満両国の文壇並に識者が、この選集に対して十分の注意を払はれんことを期待する。

（昭和十七年三月二十一日福島の旅舎にて）

青空文庫情報

底本：「岸田國士全集25」岩波書店
　1991（平成3）年8月8日発行
底本の親本：「満洲国各民族創作選集第一巻」創元社
　1942（昭和17）年6月30日
初出：「創元　第三巻第三号」
　1942（昭和17）年4月10日
入力：tatsuki
校正：門田裕志
2010年3月1日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

「満洲国各民族創作選集」選者のことば

岸田國士

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/